

企画・制作 読売新聞社広告局

ライフスタイル

「未来貢献プロジェクト・住宅の未来2020シンポジウム」(主催・読売新聞社、協力・資源エネルギー庁)が2月15日、東京・有明の東京ビッグサイトで開催され、家庭の省エネルギー化の力を握る「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」(ZEH)について、普及拡大の施策を議論した。ZEHは太陽光発電など創出エネルギーと省エネの組み合わせで家庭のエネルギー消費を実質ゼロにする。国は2020年までに新たな注文戸建て住宅の過半数のZEH化を目指し、健康や生活面のメリットなど多様な価値を紹介された。

未来
貢献
プロジェクト

基調講演



栗林賢次氏

[illegible]

パネルディスカッションでは、ZEHの快適性、機能や普及に向けた取り組みをはじめ、ZEHがもたらす経済面、健康面といった暮らしや生活に直接関わるメリットについて、各分野の専門家が最新事例をもとに意見を交わした。発言の要旨を個別に紹介する。

家庭の省エ

齊工本半一
省工本半一
省工本半一
省工本半一



Portrait

吉田 健一郎氏

日本のエネルギー需要の増大に伴い、家庭用エネルギーの普及が急務である。家庭用エネルギーが普及すれば、省エネがより大々的に行われることが期待されている。2033年度年度までに原油換算エネルギー16万t量のエネルギーを、消費量の減半が目標で、エネルギー化のフロンティアとして重要役割を担っている。エネルギーは、住宅

の気密性や断熱性を高め、エアコンなどのエネルギーを高効率化してエネルギー消費量を削減することともに、太陽光発電とともにエネルギーネットワークでエネルギーをエネルギー消費をネットワークでゼロにする住居です。

国は「ハウスマーケティング」において、エネルギー化の普及を促進する住宅戸建てを「新築住宅」に認定し、その普及を促進している。エネルギーは、住宅

ZEHにするこを目標

お客様に長期的
経済メリットの説明を



Panelist

一般社団法人JBN
(全国工務店協会)
ZEH委員会委員長
エコウィークス代表取締役社長

[illegible]

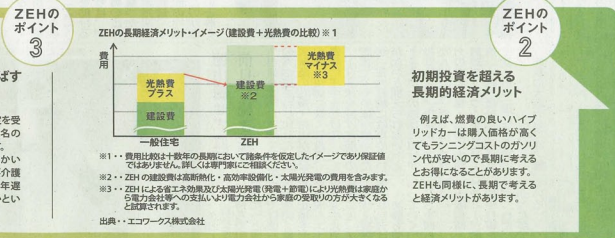
健康、知的生産
子育てにも好影響



Panelist

慶應義塾大学
理工学部システムデザイン工
主任教授

伊香賀 俊治

[illegible]

参加者募集中

エネマネハウス

大学と民間企業等との連携により、ZEHのモデル住宅を建築に際し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じて省エネルギーを行うプロジェクトの参加者を募集します。

募集期間:5/事業者(以内)定員
開催時期:大塚町うめさそ2(国分館)
応募締切:2017年3月31日(金)
応募受付:~5月25日(土)

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.eneamanehouse.jp>
主催:エネマネハウス2017実行委員会 共催:大塚町

Coordinator



プロジェクトリーダー
政井 真由氏

「ZEHとデザインのコラボを
実現させていく人が家づくりの現場に必要です。そのために、我々が持っているノウハウを、家づくりに活かすことが、我々の使命です。」

「ZEHとデザインのコラボを実現させるには、家づくりに必要な知識や技術を、我々が持っているノウハウを、家づくりに活かすことが、我々の使命です。」

**パナソニック
ホームエレクトロニクス
代表取締役社長
佐々木 隆夫**

[illegible]

高熱でエネルギーを極力必要としない
夏は涼しく、冬は暖かい住宅

削減

暖房	暖房
冷房	冷房
空調	空調
照明	照明
給湯	給湯

太陽光発電等でエネルギーを創る

一次エネルギーの実質消費量を0にする

ZEHのポイント
1

高性能設備でエネルギーを上手に使う

[illegible][illegible]

快適なのにゼロエネルギー！ ZEH^{ゼッチ}はじまる。

みんなが快適に暮らしながら、同時に省エネもできちゃう家。それが「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」。
太陽光発電などの創エネと、無理なく賢い省エネの組み合わせで、家庭のエネルギー消費を実質
ゼロにする新しいライフスタイルを実現します。この機会にゼロ、名前だけでも覚えておいてください。

